

三好市まちづくり条例を考える市民委員会 ワークショップのまとめ(第5回)

テーマ「三好市のいいところ・課題」(市役所・議会、まちづくり)

1. 市役所の組織

□市民と行政の距離が近い

- 市民との距離が近い
- 市長・部長等とも気安く話せる
- 話・相談しやすい
- 親しみやすい
- 市との連絡はとりやすい
- 人口の少ない地区では職員が出てくる
- 支所があるので本庁に行かなくてもよくて楽
- (総合支所は) 入所しやすい
- 移動市長室では対等に話せる

□市役所の組織の課題

- 職員が多すぎる
- 働かない?職員がいるような
- 正職員を減らしているのに臨時職員が多い
- 横のつながりが少ないのでは?
- 職員が多く、課が多くてわかりにくい

□第3セクターの課題

- 第3セクターは雇用の場として必要である
- 第3セクターの経営の管理に行政がもっと責任を持つべき
- 第3セクターの運営する施設の経営が問題
- 第3セクターにはもっと専門的な人材が必要で、公務員の天下りはいらない
- 第3セクターは自立的に経営すべき

2. 職員について

□職員は「三好市」全体を考えて行動してほしい

- 職員数が多く、地域の経済にも大きく寄与している（現状）
- 「三好市」の職員としての自覚に乏しい
- お互いの地域性を理解しなければならない
- 物事を三好市全体の感覚で見たり考えたりする訓練ができていない
- 職員の勉強が足りない（他町村のことも知って「市」の職員である自覚がほしい）
- 我地域のみを主張する。／見解が狭い。損得を主張しすぎる職員が多すぎる
- あいさつしない
- 話す機会を多くしてほしい
- 職員がすれていない
- 「話す機会があっても話さない人も多い

3. 議会について

□テレビ中継によって開かれた議会になった

- ケーブルテレビによって市の議会が放映され行政にうとい素人にも見られるようになった
- ケーブルテレビで議会中継があつて様子がわかる
- 市報とか議会だよりで市の事がよくわかる
- 市議さんは身近に感じる

□議会改革が課題

- 議会はあげあしとり発言が多く、市の発展を考えたものが見えにくい
- 議会での議論が目先の事が多く大きなビジョンが見えにくい
- 議会は政策提案の議論をすべき
- 議員はもう少し勉強してほしい
- 議員、特別職の報酬は財政事情をふまえて決めるべき／議員報酬は日当制にしたらどうか
- 市議定数が減少したこと（は良い）
- 池田（市街地）に議員が1人しかいない
- 個別対応の市議／しゃべらない議員
- 女性の市議がほしい／女性議員を増やすべき
- 議会への市民の関心が高い

3. 合併による行政の変化

□合併によって市民サービスが低下しつつある

- 合併してサービス残業がなくなった（市民サービスが低下した）
- 市民の要望事項に対し、行政の解答が遅い、又は出来ていない
- 市のイベントに職員が出なくなってきた

□公民の協働が大切

- 職員の減少によるサービスの低下はやむを得ないが、行政は市民との協働の方法を工夫すべき
- 行政は必要なところに適切な支援をしてほしい
- 市民と役所と議員がもっと話せる（ように）
- 役所と市民の話し合いの場がない

□行政の効率化

- 外部委託（を評価する）
- 市の仕事を業者に委託（ごみ）（を評価する）
- 財源の有効活用（無駄遣いをしない）（を重視すべき）

4. 政策課題

□地域の活性化が課題

- 池田以外の商工会は元気
- 池田では婦人会が元気
- 市民・地元の人たちのイベントへのやる気高い
- 女性が元気
- 外部からの意見ソフトのまちづくりが弱い
- まんねり／殿様商売／人口減少／働く場所がない／結婚しない
- 自分がやっていることを子どもたちが憧れられる
- 仕事になるきっかけが欲しい

□「三好市」としての一体感をどう醸成するかが課題

- 三好市としてのイメージをつくる！
- 旧町村がお互いに応援し合って、三好として盛り上がる

- 外部（各地区）との交流会を継続
- （旧町村で行っている）イベント等のしくみを1つにする

□行政の方向性や政策課題

- 雇用確保のための行政が充分とは言えない
- 新しい道路には力を入れるが、補修工事等が遅れている